

|       |              |
|-------|--------------|
| 学年：1年 | 単元名：2. なんばんめ |
|-------|--------------|

### 1. 単元目標：(全2時間)

○数を用いた順序の表し方を理解し、基点に着目して順序を考える力を養うとともに、数を用いて順序を表すことよさを感じ、日常生活に活用しようとする態度を養う。

考判表・基点に着目して順番や順序や位置を考えて数を表すことを考える。

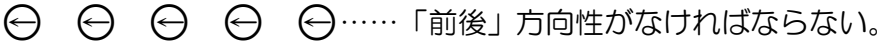

知・技・数を用いた順序や位置の表し方を理解する。  
 ・数を用いて順序や位置を正確に表すことができる。

### 2. 指導内容

### 3. 指導のポイント

○順序数と計量数の概念を理解させ、違いを考える。  
 ・指でおさえながら「1・2・3」「3番目まで数えたから全部で3個だね。」  
 ・生活場面を設定してちがいを考える。  
 「4番目の人立ちましょう。」(順序数)  
 「前から4人立ちましょう。」(計量数)など

○方向や位置を表す用語の意味を理解する。  
 ・「前・後」「右・左」「上・下」  
 ・生活場面の設定によって、用語の使い分けを理解する。


 ……「前後」方向性がなければならない。  

 ……「左右」 **特に注意!** 向きによって左右が逆転する。  
 「上下」は、ほとんどまちがえることはない。  
 ※「上下」は、地球の中心に向かうのが「下」地球の中心から離れるのが「上」である。  
 ・**自分の位置を基に考えることをとらえさせる。**

○十進位取り記数法では、「順序数」の「数字」と計量数の「数字」が同じだから便利なのである。そのよさを指導者自身が確認しながら指導する必要がある。

○今は、順序数の指導をしているのか計量数の指導をしているのかを指導者がしっかり認識して指導に当たらなくてはならない。

### 4. 指導にあたって

- ①子どもたちにどんな見方や考え方を獲得させたいか。
- ②それを通してどんな子どもに育てたいか。

### 5. 学習展開

#### 第1時

学習のめあて(作業・知る・考える)

○順番や順序や場所をうまく表そう。(P34/35/36)  
 ○前後・左右・上下について順番や人数や個数を表そう。

(授業の流れ)

○導入：徒競走の場面設定

T:今日は、なんばんめという勉強をします。

○子どもを8人ほど前を出して、整列させる。

T:この人は、なんばんめですか?→C:3ばんめ

T:えっ、3ばんめは、この人ではありませんか。(うしろから3番目の人を指して言う)

C:ちがう。

T:どういふの?→C:まえから→T:まえから3ばんめといふの?→C:そう

T:では、この人は?→C:うしろから3ばんめ→T:うしろからとかまえからとかいふのですね。

T:ではこの人は?・・・(何回か聞く。)

T:今度は、並んでいる人に聞きますよ。まえから4ばんめの方は手を挙げましょう。

C:手を挙げる。

T:みんな、あってるかな?あつたら手でOをしよう。

T:では、次は、2ばんめの人?・・・(何回か聞く。)

O:見ている人は、OかXをする

O:今度は、メンバーを変えて、対面形式で並べる。

T:では、この人は、どういったらいいでしょう。→C:右から2ばんめ。

T:えっ、右から?そうか。みなさん右手を挙げてみよう。こっちから数えるとき右からというのですね。では、こっちは?→C:左から。

T:では、ききますよ。この人は?・・・(何回か聞く)

T:では、次です。右から3番目の人は、誰ですか。→C:みんなが指を指す。

T:並んでいる人も手を挙げましょう。あれ!ちがうよ。右から3番目の人は、この人になるよ。どうしてちがうのかなあ?→C:(向きが違うことを説明すればよい)

T:右と左は、言う人の場所によって違うのですね。みんなから言うと右は、こっち。先生のほうから言うと右は、こっちになります。

T:では、練習します。みんなから言うと・・・先生のほうから言うと・・・

T:これで2つわかりましたね。「まえから、うしろから」「右から、左から」です。でももうひとつあります。教科書の動物の絵を見ましょう。(P36)

これは、どういったらいいでしょう。→C:上から、下から。

T:そうですね。では、練習します。(練習)・・・

O:動作化して、まとめる。

## 第2時

|                   |
|-------------------|
| 学習のめあて(作業・知る・考える) |
|-------------------|

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>O:順番や順序や場所をうまく表そう。(P35/36/37)</li> <li>O:人数や個数を表そう。</li> </ul> |
|---|

(授業の流れ)

1. 「まえから何番目の人」と「まえから何人」の違いを理解させる。
  - O:席に座ったままで、
  - 「まえからO番目の人立ちましょう。」「まえからO人立ちましょう。」
  - といて、何回かする。
  - T:どんな違いがあるのか説明しましょう。→C:説明する。
2. 前時の復習と練習問題(P35/36/37)
  - O: P37は、いろいろと作問させるとおもしろい。

※「なんばんめ」について1時間、「なん(こ)」について1時間というやり方にした。